札幌市立日新小学校

2016~2019 新４カ年　研究テーマの概要

研究部

テーマ設定の背景

①学校経営案　札幌市の教育

☆輝きと響き合いの学校

輝く姿　「**自分で考える**姿」
　　「**自ら動き出す**姿」

響き合う姿　「**かかわり**をつくる姿」

☆札幌市の教育で目指す「学ぶ力」

「自ら課題を見付け、自ら学び、自ら問題を解決する資質や能力等」

学ぶ意欲
主体的に学習に取り組む態度

活かす力
思考力・判断力・表現力等

学んだ力
基礎的・基本的な知識及び技能

②日新の子どもの実態（課題）

☆　アンケートから
・「わからないことを**自分で**調べる」
・「授業で自分の意見を**進んで発表**」
・「わからない時、友達や先生に**聞く**」低下

☆　学力学習状況調査から
・理科「結果について考察、分かったことを**他に適用**」「学習したことは**将来社会に出た時に役立つ**」算数「無回答、あきらめ」「考えの根拠を明らかにして書く」が弱い。

☆　授業研究から
・**一部の人だけ**で全員はできていない
・まずは**自分なりに考えをもつ**こと
・**子ども同士のかかわり**が生まれる課題設定
・**子ども同士で考えを広げていく**力

③今日の社会的状況

☆　少子高齢化
・2030 年は３割、2065 年には４割が 65 歳以上。生産年齢人口 50%。

☆グローバル化、情報化
・子どもの６５%が今存在しない仕事。
・10~20 年で半数近くの仕事が自動化。
・2045 年人口知能が人類を超える「シンギャラリティー」に到達。

※「未来を予測する最善の方法は、自らそれを創り出すこと」（アラン・ケイ）

これらの社会を
たくましく生きていく力

次期学習指導要領との関連

【新研究主題】

「自ら学び、たくましく生きる子どもの育成」

（次期改訂に向けた課題）
①判断の根拠や理由を示しながら自分の考えを述べる力　②実験結果を分析して解釈・考察し説明する力
③自己肯定感や主体的に学習に取り組む態度　④社会参画への意識

自らの力を育み、自らの能力を引き出し、主体的に判断する力を

「論点整理」が示す育成すべき資質・能力「三つの柱」

「何を知っているか、何ができるか（個別の知識・技能）」
「知っていること・できることをどう使うか（思考力・判断力・表現力等）」
「どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか（学びに向かう力、人間性等）」

アクティブラーニング

○　習得・活用・探究のプロセスを通じた**「深い学び」**
○　他者との協働などを通じて自分の考えを広げ、深める**「対話的な学び」**
○　見通しをもって粘り強く取り組み、自分の活動を振り返って次につなげる**「主体的な学び」**

カリキュラム・マネジメント

○　**教科横断**的な視点で教育内容を配列
○　**PDCA** サイクルの確立
○　教育内容と**リソース**「資源（人・物）」の効果的な組み合わせ

テーマの具現化

【新研究副主題】
社会とのつながりを実感し、学び続ける意欲が生まれる授業」

研究仮説

「見方、考え方」が膨らんでいくことで社会とのつながりを実感し、さらなる「学ぶ意欲」が生まれる。

視点１
「社会」とのつながりを
実感できる教材化

視点２
「見方や考え方」を育む
教師の関わり